# Muse不具合一覧 - Bug #63
# (V6.26)曲頭付近のペダルオフ(Y0)が出力されない場合がある

2013/12/31 15:33 - Redmine Admin

| | | | |
|---|---|---|---|
| **ステータス:** | 終了 | **開始日:** | 2012/11/18 |
| **優先度:** | 通常 | **期日:** | 2012/11/18 |
| **担当者:** | | **進捗 %:** | 100% |
| **カテゴリ:** | | **予定工数:** | 0.00時間 |
| **対象バージョン:** | | **作業時間の記録:** | 0.00時間 |

**説明**

## 状況(2012.11.18)

V6.27にて対応済み。

(原因)
Museは演奏時のモタレを抑止するため、極力無駄なMIDIコマンドを音源に送信しないようにしている。
 例えばペダルに関しては、直前にY0が指定されていた場合、続いてY0を指定してもカットされる。
ペダルの初期値はY0であるため、初めに検出したY0はカットされるというシーケンスになっていた。
しかし本件の様な記述の場合、実際の演奏時には先にY1が発行されるため、Y0をカットしてはいけない。

(対処)
１パス目の読込みではY0カットせず、後処理で実施している“ 連続する同値のコントロール(それはYに限らず)のカット処理(後送をカット) ”
に縮退効果を委ねることにした。ただしこの対応では、演奏冒頭のY0指定をカットせず、すべからく音源に送信してしまう。
 １パス目で先読みの処理を行えば理想的対応は可能だが、処理速度の低下を招く恐れがあるため
冒頭のY0カットは行わないことを制約として本対処を採用する。

改めて考察してみると
他のコントロールコードも音源の初期値が明確でないことから、
初回のコマンドはカットしないようにしているため、
今回の仕様で、より全体の整合が図られたとも言える。

## 概要(2012.11.18)

例えば以下のデータで

```
#A0¦ d4r @Y0 mf
#A1¦ @Y1 _1
```

フィンガー #A0 の Y0 が発行されないのは仕様でしょうか？

**関連するチケット:**

| | | |
|---|---|---|
| 関連している Release # 160: Muse V6.26 | **終了** | **2012/10/27** |

### 履歴

**#1 - 2013/12/31 15:34 - Redmine Admin**

*- 説明 を更新*